

詩篇 46:1-11
「コロナ災害の意味」

v1-3 神はわれらの避け所

v1 <神は われらの避け所 また力。苦しむとき そこにある強き助け。>

例 中国のクリスチャン人口

1949年(毛沢東が中華人民共和国建国を宣言) 70万人 2020年 1億3000万人
1966年~76年 文化大革命 紅衛兵によって教会堂は破壊され、数百万人が殺された。
1949年 → 1999年 クリスチャン人口 70万 → 7000万以上 50年で100倍に。

v2 <それゆえ われらは恐れない。たとえ地が変わり・・・>

→ 黙示録 16:18-20 <……大きな地震が起こった。これは人間が地上に表れて以来、いまだかつてなかったほどの、大きな強い地震であった。v19 あの大きな都(バビロン)は三つの部分に裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。…… v20 島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。>

v4-5 神の都は揺るがない

v4 <川>が<神の都>(エルサレム)に? エルサレムは海拔800m近い丘の上。

→ ゼカリヤ 14:4 <その日、主の足はエルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山はその真ん中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ、残りの半分は南へ移る。>

→ ゼカリヤ 14:8 <その日には、エルサレムからいのちの水が流れ出る。その半分は東の海(死海)に、残りの半分は西の海(地中海)に向かい、夏にも冬にも、それは流れる。>

v5 <神はそのただ中におられ その都は揺るがない。>

→ 列王記Ⅱ 18:35 <国々のすべての神々のうち、だれが自分たちの国を私の手から救い出したか。主がエルサレムを私の手から救い出せるとでもいうのか。>

→ 列王記Ⅱ 19:15 <イスラエルの神、主よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。>

→ 列王記Ⅱ 19:19 <私たちの神、主よ。ただ、どうか今、私たちを彼の手から救ってください。そうすれば、地のすべての王国は、主よ、あなただけが神であることを知るでしょう。>

→ 列王記Ⅱ 19:32-33 <それゆえ、アッシリアの王について、主はこう言われる。……『彼は、もと来た道を引き返し、この都には入らない——主のことは——。』>

<神は朝明けまでに これを助けられる。>

→ 列王記Ⅱ 19:35 <その夜、主の使いが出て行き、アッシリアの陣営で十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな死体となっていた。>

v6-9 諸国も神の支配の下に

v6 <国々は立ち騒ぎ、諸方の王国は揺らぐ。>

v7 <万軍の主はわれらとともにおられる。>

→ 創世記 1:26-27 <神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。…」 v27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、…>

v8

v9

v10 神を知る方法 一番大切なこと
<やめよ。知れ。わたしこそ神。>

<わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。>

・神さまの前に静まる時を持つ。

・聖書を開いて、「神さまがどんなに素晴らしい方であるか、どんなに確かな方であるか、教えてください」とお願いして、聖書を読んでいく。

・仕事の最中でも、「神さま。導いてください」「あなたとともに仕事をさせてください」「この問題を解決してください」と祈りながら、神さまとともに仕事をする。

世の終わりのしるし

→ ルカ 21:11 <大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます。>

神は、私たちが神に求めることを願っておられる。

→ 哀歌 2:19 <夜、見張りの始まりに、立って大声で叫べ。あなたの心を主の前に、水のように注ぎ出せ。あなたの幼子たちのいのちのために、主に向かって両手を上げよ。彼らは街頭のいたるところで、飢えのために衰えきっている。>

→ 歴代誌Ⅱ 7:14 <わたしの名で呼ばれているわたしの民が、自らへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求めてその悪の道から立ち返るなら、わたしは親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地を癒す。>

→ ペテロⅠ 4:7 <万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。>

今週の聖句 詩篇 46:10 <やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。>